



あだち野のむかし物語

ずーっと、ずーっと、昔ナイ。

布沢の衣掛け松②

しばらくして漸く心も落ち着きましたので、弁天様は、沢の流れまで下りてみました。すると、枯れ草の間から春の雲の影を静かに映している小さな池がありました。

水のきれいな美しい沼でしたので、弁天様は、着物を着たまま池の中に入り、丁寧に一枚ずつ衣を脱いで洗い、一つまた一つと絞り上げて、しまいには糸もまとわぬ姿になっていました。こんなところを誰かに見られでもしたら大変です。弁天様は、そっと辺りを見回してみました。幸い、誰もいません。背伸びして見てみますと、少し高い山に、日当たりも良く、枝ぶりの良い傘松かまぼがありましたので、「そつだ、あそこにしよ」と、弁天様は、独りつぶやきながら細い坂道を登ってその松に衣を干しました。裸ですから、恥ずかしさをこらえて松の根元に身を隠し、布の乾くのを待っていました。

陽の光は弁天様の頭近くまで高く上がり、風は静かに花の匂いをゆすりこぼすように吹いて、いつしか昼間近くになっておりました。

その頃です。薪たきぎを背負い、口笛を吹きながら愛宕山あたごやまの方から下つて来る若者がおりました。若者が松の木の下にさしかかると、

いずこからともなく、雅やかな音楽が静かに流れ響き、得も言われぬ不思議なかぐわしい香りに包まれましたので、思わず立ち止まってしまいました。若者が静かに見回しますと、美しく伸びた松の枝に、薄絹うすきぬの天女の衣があらかた乾いて、風にひらひらとはためいているのが見付かりました。若者は、「ああ、何と不思議な美しい薄絹の衣であろう。このような着物は、いまだかつて見たこともない。」と、独り言を言いながら、「そつだ、家に持ち帰って、母様に見せてあげよう。どんなにか喜ぶことだらう。」と思いつつ、美しい衣を松の枝から静かに取りはずし始めました。弁天様は驚いて、「それはなりません、私のもの。人様にはご用のない、天女の羽衣はねもなのです。どうかお返しく下さい。」と、身を隠しながらも思わず声をあげてしまいました。

(3月号に続く)



あだち野のむかし物語
安達地方広域行政組合
ウェブサイト

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和6年1月~12月末)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	不明等	合計	前年対比
侵入盗	空き巣1	2		1		4(1)	1
	出店荒し1	1				2	-3
	その他9(2)	4(1)	5	6		24(2)	11
非侵入盗	万引き8	13(2)				21(1)	-15
	車上ねらい4	1				5	2
	その他28(4)	20	40(3)	26(5)		114(18)	58
	自転車盗8(1)	2	1	2		11(2)	-4
	器物損壊3		1			4	-1
	住居侵入3(1)		1	1		5	3
	その他22(7)	8	3	2	2	37(5)	-1
合計	87(15)	51(3)	51(3)	36(5)	2	227(29)	51
前年対比	-12	2	33	30	-2	51	

※()は12月の発件数



地域で子供の見守りを!!
日常生活の中、気軽にできる「ながら見守り」活動の協力をお願いします。



国際電話番号によるなりすまし詐欺が急増中!!

+1や+44などから始まる番号、たとえば
+1312345678
+44698765432

このような表示の電話には出ない、かけ直さないよう、ご注意ください。



海外との電話が不要な方は、発信・着信を無償で休止できます
今すぐ申し込みを

固定電話・ひかり電話が対象です。そのほかにも一定の条件がありますので、詳しくは申し込みの際にご確認ください。

お申し込み・お問い合わせはこちら

国際電話不取付センター
電話番号 0120-210-364 (通話料無料)
取付時間 オペレーター案内:平日午前9時~午後5時まで



詳細情報はこちらから



-POLICEアプリふくしま登録募集中-

福島県の安全安心を守るアプリです。
QRコードから登録してください。
二本松警察署電話 23-1212

